



ニューイヤー駅伝が終わり、選手たちは冬季シーズンの成果を発揮すべく、個人種目のロードレースへ舞台を移しました。

1月20日に広島県で開催された全国都道府県対抗駅伝には、元旦のニューイヤー駅伝から好調を維持している高橋尚弥選手(岩手県代表)、古賀淳紫選手(佐賀県代表)の2名が出場しました。両選手とも最終7区に起用され、高橋選手は1人を抜き、古賀選手は区間4位と好走しました。

2月10日に山口県で開催された全日本実業団ハーフマラソンには、中本健太郎選手、高橋尚弥選手、加藤風磨選手、野村峻哉選手、古賀淳紫選手の5名が出場しました。序盤から積極的に先頭集団に付いた古賀選手が大幅にベストを更新。中本選手も好記録をマークし、若手選手に遜色ないスピードを見せてくれました。

3月3日に熊本県で開催された玉名ハーフマラソンでは、世界選手権マラソン日本代表の井上選手(MHPS所属)がレースの主導権を握り、序盤からハイペースな展開となりました。有力選手が離れていく中、高橋尚弥選手は必死に食らいつき、見事3位でフィニッシュ。日本代表選手相手に攻めの姿勢を貫いたことは今後の走りに生きてくるはず。また、野村峻哉選手も自己ベストを更新し、徐々にチームを引っ張る存在となってきました。

好成绩、自己ベストを更新した選手はもちろん、長い距離にも適応してきた五郎丸真翔選手の存在など、チームに活気があふれてきており、春先のトラックシーズンに期待を持たせてくれました。引き続き選手たちへ熱いご声援よろしくをお願いします。

## 選手コメント



高橋尚弥選手(金栗杯玉名ハーフマラソン大会)



### 高橋 尚弥

昨シーズンは納得いく走りができないレースが続いていましたが、シーズン最終レースの玉名ハーフマラソンではイメージ通りの走りができ、3位入賞を果たすことができました。徐々に走るのが楽しいと思えた半面、日本トップランナーとの差を感じたので、今シーズンは小さな積み重ねを大事にし、後悔のない一年にしたいです。

## 新人選手3名が新たに加入!

おおはたかずま やまくせいや たにがわたかとし  
今春から大畑和真(法政大卒)、山口晟弥(日本体育大卒)、谷川貴俊(大東文化大卒)の3名が新たに加わりました。これからの活躍にご期待ください!



左から 大畑和真選手、山口晟弥選手、谷川貴俊選手

### ◆ 2019年1月~3月の主な戦績

日程	大会名	成績
1月20日	第7回公認奥球磨ロードレース大会	加藤風磨 36位
1月20日	天皇盃 第24回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会	高橋尚弥(岩手県チーム 7区) 区間26位、古賀淳紫(佐賀県チーム 7区) 区間4位
1月27日	ゆくはしシーサイドハーフマラソン2019	井上拳太郎 11位
2月10日	第47回全日本実業団ハーフマラソン大会	古賀淳紫 17位(自己記録更新)、高橋尚弥 21位、中本健太郎 30位、野村峻哉 57位(自己記録更新)、加藤風磨 74位
2月10日	第59回唐津10マイルロードレース大会	五郎丸真翔 62位
3月3日	第70回金栗杯玉名ハーフマラソン大会	高橋尚弥 3位(入賞)、野村峻哉 9位(自己記録更新)、古賀淳紫 10位、加藤風磨 20位、五郎丸真翔 26位